

「第4回 小樽市雪対策基本計画策定 分科会」意見交換内容（概要版）

日時：令和元年11月25日 13:30～15:30

場所：小樽市役所別館3階 第2委員会室

出席者：委員19名

傍聴者： 3名

事務局： 2名

○：委員からの意見等

→：事務局の意見等

()：補足説明

1 生活道路の排雪支援について

- 貸出ダンプ制度で使われている金額ベースの市道と私道の割合を教えてください。
→比率（市道と私道の割合）につきましては、調べておりませんので、次回の分科会で報告します。
- （比率において）私道が多いということであれば、メリットを受けているのは私道の方なので、ある程度負担が増えることに対しては理解が得られる気がします。
市道が多い場合は、市がやるべきことなのに、私達がお金を出すというところで、抵抗があると思います。
- 助成金の移行について、例えば、市からの助成金の入金が半年後になるということになれば、町会は大変（負担が大きい）ではないでしょうか。
→助成金の支払いについては、市が業者へ直接支払う方法もあるので、地域の方に負担がかからないと思います。
- 貸出ダンプ作業時の交通誘導員の人件費が、業者に頼むと金額が高額となります。
今後の状況を考えると、パートナーシップ制度が住民の負担が少なくて良いかなと思いますが、市の負担が増えるということもあります。
市が作業の主体となった場合、生活道路の排雪を隅々まできれいにできるのか疑問もあります。
→交通誘導員の件は、費用はかかりますが、事故があつては大変なので、作業に必要な経費という認識をもっていただきたい。
- 生活道路の排雪を隅々まできれいにできるのかというところは、今後のルールづくりかと考えています。不公平感のないような制度が必要と考えています。
- 貸出ダンプの作業時に、警察に占有許可、道路使用許可等を事前にとっていますか。
→積込業者さんが、警察からの許可を取っており、許可証の写しを市に提出しています。
- 貸出ダンプ制度は、小樽の地図でどの辺が一番利用されているのか、可能であれば出してほしい。
→次回の分科会でどの辺の区域が多いのか、工夫してお示しするようにいたします。

2 地域で支え合う雪対策について

- 今後の方向性（案）が計画案に盛り込まれるイメージでしょうか。
→具体性を持たせるため4者（市役所、市民・町会等、社会福祉協議会、除雪ボランティア団体等）の連携・協力を計画案に盛り込んでいきたいと考えています。
- 計画案では、数値目標を設定できるものと出来ないものがあると思いますが、数値目標をどうするでしょうか。
→数値目標については、ボランティアに関しては、人に強制されて行うものでもありませんので、数値目標は難しいですが、数値目標を持てるものがあれば、できるだけ設定していきたいと考えています。

- 有償ボランティアとはどういうものでしょうか。
 - 社会福祉協議会の取組になりますが、無償での除雪ボランティアがなかなか集まらない状況があるので、有償でボランティアに参加していただく取組です。
- 多少の費用をだしても、置き雪を処理してほしい等の声、需要がどの程度あるのか把握したいと考えていますので、次回に教えてください。
- 生活道路以外のバス路線等の所で、硬い雪を置いていくことを何とかしてほしい。
オタモイ、幸、長橋地区では、以前からこういう声が多いです。
まずは参考にしてください。
- 自宅の置き雪に関しては各家庭で片づけるのは分かります。
ただ、高齢世帯では置き雪がそのままになり積まれている状況です。私は家の裏に（置き雪を）捨てていますが、高齢者の方は片づけられません。
- 有償ボランティアの定義を教えてください。
 - 除雪ボランティアさんは、無償で人力作業を行っていますが、ある程度の対価を支払ってボランティア活動をお願いしたいということを、有償ボランティアと表現しています。
- 交通費とかですか。
 - 交通費ではなく、例えば、他都市の事例で、1シーズン1件を受け持って2万円弱を社会福祉協議会がボランティアさんに支払うような制度です。
無償では、なかなか人が集まらないというのが、現状です。
- 社会福祉協議会の予算は募金だけでしょうか
 - 募金もひとつの財源であり、市役所が社会福祉協議会さんへ補助金を出しています。
- 福祉除雪を使う方は、ある程度、制限枠があるということですが、実際、地域の中では（福祉除雪のようなサービスを）必要な方がどんどん増えています。
 - 福祉除雪の対象外の人たちを含めて、支えあう仕組みづくりが求められていると思います。
- ボランティア登録数で、5団体とは何人くらいで、今現在足りないということでしょうか。
 - （団体に所属している人の）人数は把握していませんが、（団体登録の）ボランティアは、土、日曜日の活動が主であり、平日の担い手が少ないのが課題と聞いております。
- 事務局には、本日の御意見を反映して第5回分科会資料を作成していただきたいと思えます。
 - 次回の分科会を来年の1月下旬を予定しております。場所、時間等を改めて御案内させていただきますので、よろしく願いいたします。